まちレポ Town Topics
まちのできごとレポート

3/15 児童会ペットボトルキャップ回収に感謝状

ゼロカーボン・ＳＤＧｓの活動に小学校児童会も参加

沼田小学校児童会が、ペットボトルキャップ回収運動に取り組み、ＮＰＯ法人エコキャップ推進協会（横浜市中区）から感謝状が贈られました。

これは児童会が、自分達でも出来る環境活動に参加しようと全校児童に呼びかけたもので、児童達は家庭に貯まったペットボトルキャップを、毎朝児童玄関前の回収ボックスに集め、約３カ月で１９キロのエコキャップを回収することができました。

回収されたキャップは、エコキャップ推進協会に渡され、医療支援や子ども達への環境教育など様々な社会貢献活動に充てられます。

3/18 沼田学園沼田小学校第 112 回卒業証書授与式

夢と希望を膨らませ心はもう中学生

沼田学園沼田小学校第１１２回卒業証書授与式が執り行われました。残念ながら、密を避けるため１・２年生はスクリーンでのメッセージ参加ではありましたが、大勢の保護者や３年生以上の在校生が見守るなか、卒業生１４名が中学校の制服を着て、一人ひとり卒業証書を受け取りました。

中川浩之校長は「コロナに負けず、皆さん６年間頑張りました。その証として、卒業証書をお渡しします。今日は人生において最初の大きな節目です。家族や周りの方々に感謝を伝えて下さい。」と式辞を述べられました。

3/18 中学校グラウンド除雪ボランティア

少しでも早い野外活動を願い

渡部建設株式会社（渡部稔代表取締役）に中学校グラウンドで雪割りボランティアをいただきました。

雪割りは毎年、地域貢献活動の一環として取り組んでいただいており、この日作業員の方は「今年の雪割りは思ったより雪が多く、例年１日の作業が、今年は２日間かけて行います。」と話していました。

3/18 雪なごり瑞華　原酒蔵出し

今年の雪なごりは最高の予感

１２月１７日から雪の科学館に貯蔵していた、地元ブランド酒「雪室熟成純米酒雪なごり～瑞華～」の蔵出しが３月１８日（金）に行われました。

９０日間、雪冷熱でじっくり貯蔵されたお酒は、口当たりがまろやかになり、角の無いのど越しの良いお酒になります。

酒米生産者の中田一之さん（真布）は「フルーティーな香りで、これまでにない出来栄えだと思う。店頭に並ぶのがとても楽しみです。」と話していました。

「雪なごり～瑞華～」の生貯蔵酒は、４月１５日から町内酒小売り店で販売されています。

3/19 ヌマタネズミイルカ復元骨格完成記念講演会

北海道天然記念物

1985 年に幌新太刀別川で骨がほぼ完全にそろった形で見つかり、北海道天然記念物に指定されている「ヌマタネズミイルカ」の、最新の学説を取り込みリニューアルした、全身復元骨格の完成記念講演が、３月１９日（土）ゆめっくるで行われました。

講師には鯨類化石研究の第一人者で、ヌマタネズミイルカの名付け親でもある一島啓人博士（福井県立恐竜博物館）をお招きし、今回変更になった点やヌマタネズミイルカの特徴などをわかりやすく解説いただき、会場の町民約３０名はメモを取りながら聞き入っていました。

3/25 融雪剤散布ボランティア

野球を愛する人たちのために

有限会社明日萌観光バス（多田秀行会長）が、沼田町雨竜川総合運動公園町民球場でドローンによる融雪剤散布ボランティアをいただきました。

少しでも早く地域の野球愛好者がプレイできるようにと、多田会長自ら融雪剤を搭載した大型のドローンを操縦してグランドに融雪剤を散布してくださいました。

3/26 沼田寒中フェスティバル

沼田最後の冬のイベント開催

とむとむ広場で、沼田町商工会青年部（小泉英之部長）主催による、～日本最後の雪まつり～沼田寒中フェスティバルが町民限定で開かれました。

雪山の正面には、イベントタイトルの文字と漫画キャラクター等が模られ、裏側には大きな巨大滑り台が作られました。子ども達は、頂上からタイヤチューブに乗り、歓声をあげて何度も滑り降り、冬のシーズン最後のイベントを楽しんでいました。

開催にあたり、小泉部長は「蔓えん防止期間を外したため、昨年より１週間遅い開催となりましたが、安心して子ども達が集まってくれて本当に良かったです。」と話していました。

3/27 森のようちえん

樹液を集めてシロップ作り

今年度最後となる、森のようちえんが開かれました。ほろしんの森には、まだ１ｍ５０ｃｍほどの雪が残っており、親子合わせて１０名（大人５名、子ども５名）の参加者が集まりました。

初めに白樺やイタヤカエデの木に取り付けた樹液採取するバケツから、貯まった樹液をみんなで集める作業を行い、集めた樹液は７分の１になるまで煮詰められ、甘いシロップが出来上がりました。

3/28 介護人材の確保に関する包括連携協定

介護人材の育成・教育

健康福祉総合センター「ふれあい」で、栗山町との介護人材の確保に関する包括連携協定調印式が締結されました。

この協定は、栗山町にある介護福祉学校の学生の確保と、沼田町の高齢者福祉施設における安定的な人材確保を相互に進めるために介護人材ネットワークを構築するもので、栗山町・栗山町教育委員会・栗山町立北海道介護福祉学校と、沼田町・沼田町教育委員会の間で調印式が行われました。

締結にあたり横山町長から「本日の協定により、お互いがキャリア教育、人材交流、人材確保にメリットが生まれるよう期待します。」と述べられました。

4/1 ライオンズクラブと社会福祉協議会が協定

有事には皆で協力を

災害時に設置される町災害ボランティアセンターが円滑に運営できるよう、沼田ライオンズクラブ（富田茂将会長）と町社会福祉協議会（松田剛会長）が、４月１日（金）協定書を取り交わしました。

もしもの災害時には、町と協定を取り交わしている社協がボランティアセンターを設置しますが、そのセンターの運営を手助けする目的で今回の協定が結ばれました。

具体的には、災害時に活動するボランティアの移動用車両や資機材等の提供を想定しており、協定書を取り交わした富田会長は「こういう形で町の中の連携が進んでいくと安心して暮らしていけると思います。」と話されました。

4/5 役場主婦の会文房具寄贈

元気で明るく過ごしてね！

役場主婦の会（横山美紀子会長）の役員が、４月５日（火）に沼田小学校を訪れ、春から沼田小学校に通う新１年生２２名へ文房具をプレゼントしました。

このプレゼントは、役場主婦の会が地域貢献活動の一環として長年行っているもので、横山会長は「子供たちが、元気で明るく学校生活を送れるように使って欲しいです。」と文房具を中川浩之校長に手渡しました。

4/5 防犯協会沼田支部が文房具寄贈

事故事件に気を付けてね！

沼田町防犯協会沼田支部（石田隆広支部長）が、４月５日（火）に春から沼田小学校に通う新１年生２２名へ鉛筆、消しゴム、自由帳、下敷きをプレゼントしました。

自由帳や下敷きには、事故・事件に巻き込まれないために防犯標語である「いかのおすし」や自転車の安全ルールがイラスト付きで分かりやすく記載されており、石田支部長から「子供たちの安全・安心につながるよう活用して下さい。」と中川浩之校長に手渡しました。文房具を受け取った中川浩之校長は、「日頃から交通安全パトロールを実施して、子供たちの安全・安心を守っていただき、感謝しております。」と話されました。

また沼田町防犯協会では、５月に防犯・交通安全パトロールを実施する予定です。

4/6 交通安全祈願祭

今年も一年、安全に

沼田町交通安全協会（坂本久和会長）が、４月６日（水）に沼田神社で交通安全祈願祭を執り行い、交通安全祈願祭に参加した各団体関係者２２名全員が交通安全のタスキをかけ、交通安全を祈願しました。

坂本会長は、「今年一年、交通事故の無いように努めていきたい。皆さんのご協力よろしくお願いします。」と挨拶されました。

現在、沼田町では交通事故死ゼロ運動が 3,500 日を突破しましたが、これからも交通安全に努め、交通事故が起こらないことを願っています。

4/6 沼田学園沼田小学校入学式

元気いっぱい！１年生

４月６日（水）に沼田小学校（中川浩之校長）入学式が行われ、２２名の子ども達が緊張した様子で体育館に入場し、担任の近藤先生から名前を呼ばれると元気いっぱい手をあげて返事をしていました。

中川校長から１年生の皆さんには「おはよう、ありがとう、しっかり元気よく挨拶をしましょう。」そして、保護者の方々には「６年間で心も体も大きくなります。心配事があれば何でも相談してください。」と述べられました。

4/6 沼田学園沼田中学校入学式

大人へ近づく第１歩

沼田中学校（里舘幹彦校長）で４月６日（水）入学式が行われました。新入学生１４名は制服に身をまとい、保護者に見守られながら会場に入場しました。

里舘校長は、新入学生に「小学校で培った力を土台に３年間で確かな知識、豊かな心、健やかな体を養い、生きる力を身に付けてください。」と挨拶され、保護者の方々へ「安心・安全して学べる場所を提供できるよう努めていきます。保護者の方々と連携して子ども達の成長を支えていきましょう。」と述べられました。

4/7 商工会女性部がこども園へ「色鉛筆」寄贈

たくさんお絵描きしてね！

沼田商工会女性部（三浦実希部長）の役員２名が認定こども園を訪れ、年長のたんぽぽ組（１４名）の子ども達に色鉛筆を寄贈されました。

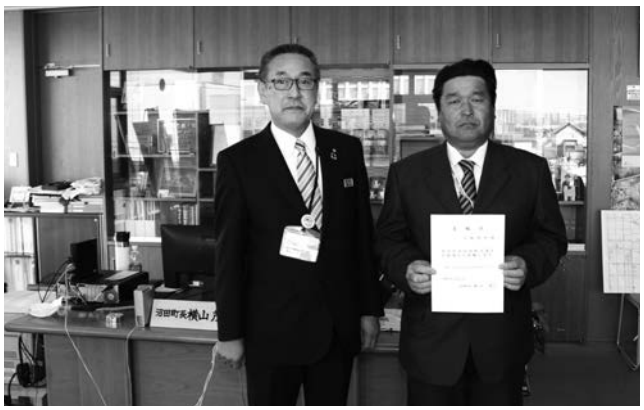
三浦部長から子ども達へ「交通安全に気を付けて元気に過ごしてください。」と色鉛筆が渡されました。色鉛筆を受け取った子ども達は「ありがとうございます」と大きな声で答え、とても喜んでいました。

4/8 新規交通安全指導員委嘱状交付式

事故の無い沼田町へ

新たに交通安全指導員になられた、大堀英彰さん（共成）と木田政幸さん（東予）に委嘱状が交付されました。

横山町長からは「交通事故の無い町を目指して、これからも沼田町の交通安全に協力してほしい。」と話され、新規交通安全指導員２名を代表して大堀英彰さんに委嘱状を交付しました。



4/11 沼田すずらんの会総会

少年の成長を見守る

沼田すずらんの会（藤村富士子会長）の総会が４月１１日（月）に開催されました。

藤村会長は、「皆さんが、就業支援センターの子ども達へ優しく、親しみやすく接していることで子ども達が成長し巣立っています。」と話され、沼田町就業支援センターの松原統括保護観察官からは「子ども達は、何も知らない町に来てすごく不安になる。沼田すずらんの会との食事会などの皆様の献身的な対応のおかげで、１人１人の気持ちが伝わり、沼田町に来て良かったと思う子どもが大勢いる。これからも温かい目で見守ってほしい。」と感謝の挨拶がありました。

これからもよろしくお願いいたします。

各委員に委嘱

固定資産評価委員に鵜野育雄さん

３月１０日（木）に開会された定例議会において、固定資産評価委員に鵜野育雄さんが再任され、横山町長から選任書を交付しました。選任書を渡した横山町長は「ご多忙とは存じますが、引き続きよろしくお願いいたします。」と述べました。

任期は令和７年３月２４日までの３年間です。

公平委員に田島博幸さん

３月１０日（木）に開会された定例議会において、公平委員に田島博幸氏が再任され、横山町長から選任書を交付しました。選任書を受け取った田島さんは「与えられた任務を務めてまいります」と挨拶されました。

任期は令和８年３月２６日までの４年間です。

教育委員に三浦実希さん

３月１０日（木）に開会された定例議会において、教育委員に三浦実希氏が選任されました。交付式で横山町長は「教育行政が進化する時代に、女性の視点でご意見をいただきたい。」と選任書を交付しました。

任期は、令和６年９月３０日までです。

身体障がい者相談員に沼田晴子さん
知的障がい者相談員に辻よし子さん

町内在住の身体や知的に障がいのある方の相談に応じ、障がいの方の社会参加に関する活動などへの協力を行う、身体障がい者相談員に沼田晴子さん（市内４）、知的障がい者相談員に辻よし子さん（更新）に委嘱状を交付しました。

委嘱状を渡した横山町長は「町民が安心して暮らせるようお願いします。」と述べました。

委嘱期間は令和６年３月３１日までの２年間です。